

部局名	教育委員会	所属名	社会教育課	所属長名	佐藤 正勝	電 話	481-0304
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3960		事務事業名称	やちよふるさとカルタ推進事業					短縮コード	経常		臨時	3960
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		社会教育法、八千代市子ども憲章							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・事業概要 八千代市の自然・歴史・伝統文化・産業などを題材に制作した郷土かるたを、市民に販売・貸出する。 ・事務事業を開始したきっかけ 2001年(平成13年)1月1日の八千代市子ども憲章制定を記念して平成13年度に開始された。かるたの制作は市の公募に応じた市民等による「八千代ふるさとかるた」づくり実行委員会が担当した。初版（1,200部・うち170部は寄贈）が完売となったことから、平成15年度に増刷版（555部）を発行している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
平成14年度制作当初、総合的な学習の時間や完全学校週5日制が導入されていたこともあり、学校教育と社会教育の両方の活動でのカルタ利用が増加した時期があったが、その後は横ばい。平成18年度、青少年課の主催でかるた取り大会が開催され、その影響で売り上げが増えた					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	02	社会教育						
					小項目（施策）	01	社会教育活動の推進						
					細 項 目	01	学習活動の充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民 ・市内の子どもに関係する団体・機関（幼稚園・保育園・小学校・学童保育所・子ども会）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 平成15年度に増刷したかるたを教育委員会生涯学習課(現・社会教育課)、郷土博物館、文化伝承館の3ヶ所において、1セット1,300円で販売した。 子どもに関係する団体・機関へのかるたの貸出を行った。							
	※平成19年度に計画していること： 平成18年度に引き続き、かるたの販売・貸出を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	八千代の自然・歴史・伝統文化・産業などについて楽しみながら学習してもらう。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市人口（3月末現在）	人	184,979	187,000	186,650	188,600	
	指標 2	市世帯数（3月末現在）	世帯	74,286	76,000	75,675	77,100	
	指標 3	市内の子どもに関する団体・機関数	団体	108	108	108	109	
活動指標	指標 1	八千代ふるさとかるた販売数	セット	24	60	69	70	
	指標 2	八千代ふるさとかるた累積販売数	セット	1,251	1,311	1,320	1,390	
	指標 3	八千代ふるさとかるた貸出回数	回	1	10	8	10	
成果指標	指標 1	ふるさとかるた普及率（累積販売数／世帯数）	%	1.7	1.7	1.7	1.8	
	指標 2	貸出用かるた活用率（貸出回数／子ども関係団体数）	%	0.9	9.3	20	25	
	指標 3	地域に愛着を感じている人の割合	%	76.5	76.5	100	100	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3960	事務事業名称	やちよふるさとカルタ推進事業			所属名	社会教育課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	0	0	0	0	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			予算なし	予算なし	予算なし	予算なし	
人件費 (B)			千円	205	217.8	187.3	174.2	
トータルコスト (A) + (B)			千円	205	217.8	187.3	174.2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策「社会教育活動の推進」を推進するために、やちよふるさとカルタ推進事業を実施しており、結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		平成15年度に増刷した販売用かるたの在庫がまだ残っており、さらに普及させたい。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業の目的が市民の郷土への愛着や関心を高めることであるため市が行うべき事業である。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		対象や意図を特に変更する必要はない。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		現在行っている、公共施設でのポスター掲示、広報やちよへの記事掲載、今年度も開催を予定している青少年課主催のふるさとかるた市民大会などがPRとなっている。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ IT化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法					実施主体 (所管部署)	
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	3960	事務事業名称	やちよふるさとカルタ推進事業			所属名	社会教育課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			販売用カルタの在庫があり、普及に努めていく。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			郷土への愛着を深める一助となることを期待して利用数の増加を目指していく。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
貸出後に回収しているアンケートの感想では皆良かったと回答しており、好評である。	

所属長コメント	平成13年1月1日の「子ども憲章制定」記念事業として、カルタを制作し販売や貸出を行っている。遊びを通じて八千代市の文化などについて親しんでもらえるよう今後もPRを行い、販売数、貸出数を増やしていく。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		